

山上の盆踊り 今昔



コロナ禍前の令和2年度盆踊りの様子。雨のため体育館で行われました。現在、まち協では盆踊りのCDを制作中です。

【山上盆踊りの歴史】 山上地区は、盆踊りが盛んでした。昭和60年（1985年）に教育委員会が発行した『日南の伝承文化』には、笠木の藤原忠章氏（明治41年生・故人）による次のような話が紹介されています。

盆の13日は仏迎え、14日は新盆等の家を思い娯楽的なことは一切せず、15日に笠木の日谷神社の社務所の庭で盆踊りが行われた。やぐらの上に歌い手が上がり、下で3本の本を組んで太鼓をつるし、2人で打った。輪が幾十にもなり、変装して踊った。盆には若い者に踊り下駄を買ってやった。17日に茶屋、20日には福万来の長楽寺であった。

踊りの種類は、①〈バンバ〉、②〈ハネソ〉、③〈こだいじ〉、④〈ヤンハトナー〉の4つあり、この順に踊ったが、①の〈バンバ（番場）〉が最も長い時間（40分以上）をとって踊られ、一番普及した。②③④と時間は少ないが、踊り疲れて踊りを中止する者が続出し、したがって踊りに対する関心度も薄くなり、中でもヤンハトナーは徐々に踊る者が少なくなり、口説き踊りとも伝承者が現存しない。①の番場は、口説きで太鼓が入るが、②〈ハネソ〉と③〈こだいじ〉には太鼓が入らず、7775音の短い歌詞である。

バンバの「小源太」口説き

わしがチヨイト出て

チヨイトやりましょか

わしがやるのは危ういもので

鹿の足跳びあちらやこちら

竹の丸橋雪駄で渡る

落ちたところは拾うておくれ

切れた処は繋いでおくれ

どれもどなたもどなたも誰も

アリヤサコリヤサと囃子ておくれ

下手な口上時間の邪魔よ

サアサこれから次の調にかかる

わしがやるのは小源太音頭

歌詞提供・近藤仁志さん（茶屋）



この町で、この地で笑って老いたい ～そのために今すべきこと～

大草山だより



令和7年8月号

発行：山上まちづくりの会(事務局) 電話 82-0933

みんなでかたろう会 ～懐かしの昭和～



今年は昭和100年にあたります。

日南町老人クラブ連合会と社会福祉協議会が共催して、昭和の写真を見て思い出を語り合う会が催されました。

7月24日(木)、第1会議室に集まった15人の皆さんは、写真を提供された茶屋の野口忠實さんや渡辺泰子さんの話を聞きながら写真に見入っていました。

やはり昭和38年(1963年)の「三八豪雪」の思い出が強烈で、救援物資が空輸された話、家が雪に埋もれ2階の窓から出入りした話、阿毘縁の解脱寺の大鳥居に腰掛けたりまたいだりした話で盛り上がりました。

夏の特別企画 みなさんもやってみよう！

脳活クイズ「あの頃にタイムスリップ」



下の集合写真を見て誰が写っているか当ててみよう。わかるかな？



【地域振興部】 福万来ホタル乃国2025 13日間実況中継

地域振興部ではガイド担当者とSNS情報発信担当者がホタルの様子をラインで情報共有しました。春の草刈り後、13日間のホタルの国の様子がよくわかるので紹介いたします。



福万来ホタル乃国 開国12日前
6月15日(日) ホタル鑑賞地の草刈り作業

6月24日(火) 近藤 開国3日前

ヒメボタル現る!! 観賞道入り口1匹、野呂山口付近3匹、栗の木下に1匹確認しました👍 ゲンジは5割に近い充分観賞に耐えられる水準です。

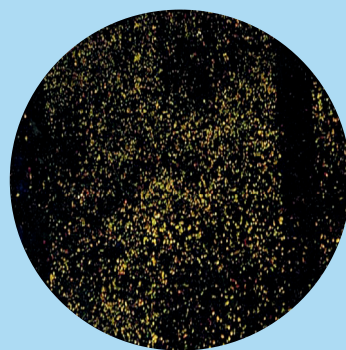
6月26日(木) 吉川 開国前日

ヒメ御殿、観賞道内共に草陰で光るヒメボタル2〜3匹を確認しました。それ以外にもポツンポツンと5〜6匹飛んでいました。ひかりはじめも近いかも。

6月26日(木) 柴田

雨が降って一気に草が伸びそうで29日に集落支援員と再度、県道の草刈りをします。

日本のようなホタルは外国には生息していません。今年の福万来ホタル乃国は海外からも40人以上のお客様を迎え、日南町民の入国者は320人、入国者合計は2409人でした。大阪万博と重なりツアー予約は少なかったのですが、去年の入国者2315人より94人も多い入国者で、たくさんの人に美しい日南町の初夏の風物詩を楽しんでいただきました。暑い13日間でした。山上のみなさん、本当にお疲れさまでした。



開国初日

←6月27日(金) シャトルバス出発式と福万来ホタル乃国行きシャトルバス愛称発表の様子。木村正史まち協会長(写真右)が参加されました。

6月27日(金) 山本 開国初日

初日おつかれさまでした。ゲンジは300匹前後・例年ピーク比5〜6割（低空飛行が大半）で、ヒメは100匹前後・例年ピーク比2割（葉っぱの裏が大半）ほどと感じました。皆さんとも話してましたが、ヒメの出方が早いように思います。

6月29日(日) 青戸 開国3日目

連日お疲れ様です。見に来られた方から綺麗ですねと言ってくると元気がでます。

6月30日(月) 吉川 開国4日目

8時30分、月が出て明るくなりました。ゲンジはまた減ったようです。ヒメボタルが元気です。ヒメ御殿が光り始めました。観賞道の中はしっかり光っています。

7月3日(木) 若月 開国7日目

ターミナルのお客様も今日はとても喜んでくださり、来年も来ますと口々におっしゃってました。大阪からの方は田舎の良さを堪能した。と。京都からの学生さんかな？(留学生さん)も来年も来ます！と。お客様のこう言う声が励みになりますね😊

7月2日(水) 若月 開国6日目

おはようございます。一昨日の吉川さんの話では、2、3日のうちに観賞道のウェーブ(※)がみられるのでは？とおっしゃってました。ゲンジは少し数が減ったとのことでしたよ。昨日はガイドに青戸さん、幸徳さん、吉川さん、清一さんが入られたと思います。カメラマンの方は喜んで下さってましたからきっとかなりの数が出たのでしょう。

※ホタルのウェーブ=大波のように順番に光ったり消えたりする様子。「競技場で観客が順番に立ち上がるアレ」に似ている。

7月3日(木) 近藤 開国7日目

8時半過ぎに上流から明日のガイドに備え観察。月は薄雲に隠れて程よい明るさに期待は高まる。最上流の杉の谷間はゲンジが人を惹きつけるに十分な数、よろし！御先原ヒメボタルは増え止まりを感じる、今日明日がピークでしょう。昨年より若干少なさそうだけど、感嘆の声を頂く。幸徳ガイドの声に感心しながら、3人女子グループにホタルの解説。スタッフの温かい対応に感謝の声を頂き、気持ちよく帰路に着きました。

7月5日(土) 近藤 開国9日目

8時にテントを出発、観賞道まで確かにゲンジは少なく感じガイドに心なしか力入らず、御先原でヒメボタルを堪能して南大手門に来ると、立派なゲンジに出会えました。帰りはゲンジも高く飛び捨てたもんでありません！ヒメの世界に変わっていくのは間違いありませんが、上流はもう少しゲンジも頑張ってくれるでしょう。期待と希望しています。

7月5日(土) 吉川

上弦の🌙、月明かりで影が出ています。少ないゲンジが陰に隠れてより少なくみえます。ヒメはしっかり光っていますが、月明かりにおされて見劣りがします。明日こそ山が光れ!



7月5日(土) 近藤

休暇村ガイド8時現地スタート。ホタル回廊に入ってもゲンジは3から4匹の塊が所々で光っている状況。それでもありがたいお客様で、感激の声を頂けます。月明かりで道は明るいものの林のヒメは激しい光を放っています。観賞道では月明かりから解放され、昨晚以上の光に感激。西表島でヒメボタルを見た夫婦からも、そうそうこの光り方と喜んでもらえた。南大手門からゲンジの頑張りに出会えます。折り返し点迄に40から50匹の塊が上下にあり、感激の声は最高潮🥳ヒメボタルは未だ増え止まりではなかった、ゲンジはガイド泣かせのデンション爆下がりとなるでしょう。



7月9日(水) 若月 最終日

昨日は月が無かった代わりにザンザンぶりでした。8時半を回って雨が弱くなってからはヒメはよく光ってました。幸徳さんが現地を歩かれて、きれいだったぞお！と帰って来られました。

7月10日(木) 若月 最終日の1日後

皆様13日間のイベントお疲れ様でした。昨日のホタルはやはり雨で光始めが遅かったようですし、数も減ってしまいました。昨日は保護の会のガイドさん全員集合で、それぞれ雨の中お客様とお出かけになりました。最後に良いおもてなしができたのではないかと思います。流石に11日が満月とのことで、雨が止んだら明るい月明りでした。

